令和８（２０２６）年度　法学研究科博士課程前期２年の課程　入学試験問題（一般選抜）

（科　目　名）　民法
以下の問１、問２の双方に答えなさい。
問１　民法６０５条の２第１項が、不動産の賃借権の対抗要件を備えた場合において、
その不動産が譲渡されたときは、その不動産の賃貸人たる地位は原則としてその譲受人に
移転するものとしているのはいかなる理由に基づくと考えられるか、論じなさい。
問２　Ａは、甲土地をＢに売ったが、それによる所有権移転の登記が未了のまま、今度
はＣに、甲土地はＡが所有しているのだと述べてその購入を持ちかけた。Ｃは、Ｂに売却
されているのではないかという疑いを抱いていたが、真実は知らなかったので、「登記は未
了だから自分が買ってＢに高値で売りつけよう」と考え、甲土地をＡから買った。このと
き、Ｂは、甲土地の所有権のＡからの取得をＣに対抗することができるか、論じなさい。